

1. 会議名	令和5年度 第2回出雲市子ども・子育て会議
2. 開催日時	令和5年10月18日（水曜日）14:00～15:30
3. 開催場所	出雲市役所本庁 6階 全員協議会室
4. 出席者	<p><委員></p> <p>肥後功一委員（会長）、本田一勇委員、吉井安見委員 松本雄大委員、布野美和子委員、山岡 尚委員 渡部英二委員、飯塚由美委員、廣戸悦子委員、原 成充委員 堀江泰誠委員、田中佳江委員、高橋義孝委員</p> <p>（欠席）</p> <p>高橋恵美子委員（副会長）、平田浩基委員、芦沢隆夫委員 系賀元次委員、佐野裕一委員、佐野美保委員、河上史子委員</p> <p style="text-align: right;">（以上、順不同）</p> <p><事務局></p> <p>子ども未来部長、子ども未来部次長（保育幼稚園課長） 子ども政策課長ほか</p>
5. 次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 市立幼稚園のあり方検討の状況について 4 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン の取組について 5 閉会

6. 議事要旨 以下のとおり	
事務局	<p>1 開会</p> <p>定刻に開会。</p> <p>[会議成立]</p> <p>委員20名中14名が出席し、出雲市子ども・子育て会議条例第6条第2項により、定足数を満たしていることを報告。</p> <p>[会議の公開について]</p> <p>本会議は出雲市子ども・子育て会議規則第3条第1項の規定により、公開で行うことを説明。</p>
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>失礼します。皆さん、こんにちは。</p> <p>現在、高校の在り方に関する検討委員会に関わらせていただいています。これまで、学校について人口減ということの具体的な検討はあまり行われてこなかったわけですが、いよいよ地域によってはそういったことを考えざるを得ないというような状況になってきました。</p> <p>予定より、人口は減り続けているということがあります。もちろん、人口減に打ちかつことは必要ですが、出雲市は県内全体をリードするような、そういうポジションにある市でありますので、今後どう備えるかということについて、検討ができていなければならないのではないかと思います。</p> <p>高校の在り方の検討をするというのは、そのある年に高校生が何人になるかは、その世代の子どもたちが生まれた瞬間に分かっているわけです。そこに向かって、あらゆる手が打てるということができる段階の間に、設計しなければならないということになります。</p> <p>本日は、1件の報告を伺うということになっておりまして、出雲市の公立幼稚園の在り方ということについて、ワーキンググループを立ち上げられ、小村部長を座長とする委員の皆さんで、委員会で検討したということです。それまでの結果について、皆さんにご報告をいただき、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3 報告</p> <p>会長が会議の議長を務める。(子育て会議条例第6条第1項)</p>

会長	<p>報告事項が1件ということです。</p> <p>事務局から「市立幼稚園のあり方検討の状況について」ご報告をいただきます。</p> <p>〔事務局説明〕</p>
会長	<p>皆さんから資料に対する質問、あるいはご意見、一括して受け付けたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>失礼します。公立幼稚園の今後の在り方につきましてご説明をいただきました。ありがとうございました。</p> <p>第4期の出雲市教育振興計画におきまして、市立幼稚園の適正規模と認定こども園化の検討ということが記載してあります。また、これまでの調査、分析、現状の把握、ワーキングの会議等々でのご意見の中からも、将来的な認定こども園化という言葉があります。</p> <p>今後、公立幼稚園の存続に向けて、公立幼稚園の認定こども園化に向けた流れですとか、存続の光のようなところが、意識をされるような印象を受けております。</p> <p>現在、全国的に人口減少、少子化が進む中におきましても、その中で社会福祉法人の認可保育園が認定こども園化をする。また、公立幼稚園や公立保育園を社会福祉法人へ事業移管を行って、国の補助金を使って認定こども園として設置する動きが多く見られる現状でございます。</p> <p>これには幾つか理由があります。現時点におきまして、社会福祉法人の認可保育園から認定こども園への移行に関しましては、法人の自己資金の利用や国からの建設補助金が受けやすいというような現状になっています。幼稚園は、現在の建物から認定こども園に移行する際の施設基準について、保育園の施設基準は大変規制が高いものになっておりますので、改修をするだけでも数千万円のお金がかかります。</p> <p>2番目に、認定こども園になりますと、まず0歳、1歳、2歳の子どもである3号認定、そして3歳以上児で保育園の対象の子どもである2号認定、こちらを受け入れることになります。それに対応するために、保育士は、幼稚園部分である1号認定用の幼稚園教諭とは別に、2号、3号の人数に対する最低基準の保育士が必要となってきます。新たにそれだけの保育士確保というのは、現実、なかなか難しいというところでもあります。そして、我々のところでも、認可保育園の最低基準の保育士数の1.5倍から1.7倍の保育士を配置しております。その配置する中で安定した幼児教育と保育を実施して運営するというのが今の状況でございます。</p>

	<p>そこから考えれば、全国的な社会福祉法人の認可保育園から認定こども園の移行が進められていったというのは、これは現実な選択として当たり前なのかなというふうに感じるところであります。</p> <p>また、実は法的、それから制度的な問題にあって様々な要素はございますが、先ほど申しあげました、この2点におきましても、出雲市において公立幼稚園の認定こども園化という流れが出るのは、誤解を生むのではないかと、認定こども園化をすれば全部助かる、存続ができるのではないかと、という話になりかねないのかなと考えます。</p> <p>当然のごとく市の税金から全て賄うことにもなりますし、認定こども園化すれば、その運営費はとてつもない額になってまいります。今の幼稚園の額ではございません。そして、保育園よりも、収入、運営費が上がってきます。</p> <p>現状を見た上で、本当に認定こども園化という言葉が必要なのかどうか、認定こども園化が進んでしまったらどうするんだと危惧をしているところでございます。市としての見解をお聞きしたい。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料1-1のメンバー表を見ていただくと分かりますが、内部の方々ばかりで、幼稚園からの委員と市の職員の方々でつくられたワーキングです。その中でレポートですから、それを外から見たとき通用するのかということが言われるのではないかと。今、委員から話がありましたが、そういうことのご意見ではないかと思っております。</p> <p>このレポートについて市はどうお考えかというご質問です。</p>
<p>事務局</p>	<p>この資料はあくまで内部検討ワーキング会議の内容をまとめたものです。幼稚園の職員と市の行政職員で構成し、現状把握や課題を整理した結果をまとめたレポートです。</p> <p>実際のあり方検討については、今現在、出雲市教育政策審議会に諮問し、答申を待っているところです。</p> <p>今回ご説明させていただきました内容は、先般、10月3日の第4回出雲市教育政策審議会から本格的にあり方検討の審議がスタートしましたが、その際に配付して説明した資料について、子ども子育て会議の委員の皆様にも知っていただきたいということで、説明させていただきました。教育政策審議会においては、今後もあり方検討の審議が継続します。</p> <p>市としましては、この出雲市教育政策審議会からの答申を受け、その内容を踏まえて、公立幼稚園をどうするかということ、今後のあり方や方針、計画など定めていくことになろうかと思っております。</p>

<p>会長</p>	<p>また、そうした方針や計画策定の際には、関係団体や地域の方々など、あらゆる方面の方々と協議、検討が必要と思っております。</p> <p>現段階では、市としての今後の方針や計画は決めておらず、あらゆる可能性を持ち、審議会からの答申を受けてからの検討、策定に向かうことになると考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見、ご質問のある方がいらっしゃいましたらお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆さんからご質問がないので私からお話しますが、1-1の資料のタイトルは、「市立幼稚園の今後のあり方について」ということですね。これを最後まで読むと、今後の在り方について書いてありますか？</p>
<p>会長</p>	<p>あり方についてということで検討をスタートしましたが、内部検討では、現状データを集め、どういう課題があるかというところを整理しようということになり、副題に、現状と課題を入れました。ワーキング会議自体も4回の開催で、その4回の開催の中でデータ分析をして、現場で働いている方が委員になっておりますので、いわゆるその従事者の思いを入れつつ、課題を整理したものとなっています。</p> <p>そうだと思います。私が言っているのは、従事者で内部の方だからこそ、内部の方しか言えない厳しい見解をきちんと出すということが仕事だと思うのですが、それができてない。そこが駄目だと思います。</p> <p>資料の1-2の最後のグラフ見てください。このグラフを見たら、今後、公立幼稚園は要らないのではないかとも言えるほど厳しいデータですよ？</p> <p>これ見て、これに対してどういう反論ができるのかという、それでも要るんだという立論をしなきゃいけない。そういうワーキングですよ。その真剣さが足りないってことを申しあげたいんです。これを見たら誰しも、市民はここに積極的にお金をかけようとは思わないのではないのでしょうか。いや、そう見えるかもしれないが、公立幼稚園はこういう役割を果たしている、ここには必要だ、こういう形で必要性がある、このようになら有り方として考えられる……っていうのを示すのが「有り方を示す」ということです。そこに至ってない。データをみんなで見ましたというところで終わっている。</p> <p>1-1のデータの最後に課題が整理してありますが、規模感の提案が全くない。どういう規模の幼稚園なら、どういう地域にどんな形で存続できるのか、それには幾ら必要なのか、そういったことが検討されてない。今</p>

	<p>後5年間の出雲市の様々な保育機関や民間機関の様々な在り方を眺めた上で、じゃあ公立幼稚園はそれでもここには要るっていうのはどういう場合なのかということを検討するのが在り方の検討ではないかと思います。</p> <p>それを審議会にデータとしてお出しするという役割があるんじゃないかなと思いますが、これを読む限りでは、この内部の方々が全く真剣な検討をしていない。先ほど市民からのアンケートがありましたけど、市民にアンケートを取ったら、それは公立幼稚園の役割も必要だし、公立であってほしいという意見も出ます。出ますが、じゃあ出たら残すのか？ そういう問題じゃないと思うし、私はこのデータを見た瞬間ほんとにびっくりしましたが、このデータを出しておきながら、先ほどの結論になるというのは、全く意味が理解できません。</p> <p>これについて、内部で議論された方の意見を聞いてみたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
部長	<p>子ども未来部長の小村でございます。昨年度行いました内部での検討ということで、現状把握ということさせていただきました。先ほどご指摘がありましたように、実際に幼稚園の現場で働いている思い等も入れておりますが、公立幼稚園として果たすべき役割として、こういったところに重点を置いているかということにつきましては、先ほどのまとめの中でも11ページとか12ページ辺りのほうでまとめさせていただいております。そういったところには強い思いを持っておりますし、引き続き、市としても公立幼稚園としての役割があるというまとめ方はしております。</p>
会長	<p>そこはそれでいいですね。</p>
部長	<p>はい。</p>
会長	<p>つまり強い思いがあって、現場がこれまでこういうことをしてきたから残そうという方針でやっているということですよね。</p>
部長	<p>そういった機能について、今後、残す必要はありますが、それをどういった形態でやるかということについて、このたびの教育政策審議会の中でご審議をいただきたいと思っていますところです。</p>
会長	<p>分かりました。厳しい意見を言っているように聞こえますが、私は、内部の委員会の委員の方がされるべきだということを言いたい。本来は内部で厳しい検討をされた上で、どういう残れる余地があるのかを考えるべき</p>

部長	<p>ではないかということが申しあげたい。公立幼稚園とは長いお付き合いもありますし、私なりの愛着もあるし、思いもあります。ただ、思いを述べるということだけで済むような数字じゃないです。どのように考えていますかということを知っています。</p> <p>お配りした中での現状認識と将来展望、先ほどご説明ありました数字につきましても、現状として実際そういう状況にきているということで、危機感を持っております。そうした中で、この幼稚園というものを、いわゆる幼稚園の機能そのものをどういうふうに残すかという手法について、様々な国の制度もありますが、そういったことも含めて出雲市にどういったことがふさわしいかということ、いろいろな団体とも話をしながら、進めていきたいと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。皆さんからのご意見もお願いいたします。</p>
委員	<p>前から気になっていたことがありまして、幼稚園と保育園はどこが違うんだろう。例えば小学校に入って、何をもって優れているということは言えないと思います。たとえば、3年生、5年生、6年生と、どんどん差が開く。テスト成績の高い人はみんな幼稚園で、低い人は保育園だったというようなデータはないと思います。だから幼稚園じゃなくてもいいのではないか？ そもそもそこにこだわること自体がちょっと分からない。幼稚園のここがいいところですよというのが、言えるでしょうかという質問です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。公立幼稚園のことですね。</p>
委員	<p>はい、公立ですね。</p>
会長	<p>私立にも幼稚園がありますし。私立の多くの幼稚園は、認定こども園化しているという、そういうストーリーがある中で、公立幼稚園のこれが売りですっていうようにして、果たせる役割は何ですかというご質問だったと思います。現場からのご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>失礼します。公立幼稚園は、今、保育園と一緒に研修してまして、平田地域でも幼保一緒に研修、お互いの保育を見合ったり言い合ったり、そういった部分ではほんとに共に同じ地域の子どもを育てていこうという方向が各地域で出来上がってきていますので、じゃあどっちがいいとか、そ</p>

ういう感じではないと思いますけども、時代のニーズとか、ただ、本当にここで考えたいのが、ニーズだけでいいのかというのが一番ありまして、このアンケート見ると、悲しくなるような結果で、予想できるような結果でもあったんですけど、それこそ追跡調査して、幼稚園が突拍子もなくいいとか、保育園が悪いとか、そういった結果も全然出てないです。ただ、やっぱり子どもを真ん中にした教育のこれからというものを考えていきたいと私たち全体で考えています。

そこで、公立幼稚園としては、出雲市の幼稚園全体で研究会を持っていて、お互いの保育を見合いながら高めあったり、先が見えない時代と言われる中で、どう生きる力をつけていくかっていうところを考えていて、それに向かって全25園が同じような考えの下で、どこに行っても同じ保育を提供できる。この資料の中にもあった、もっと英語教育をとか、特化した習い事のような何かをというような親さんの希望もありますけれども、公立幼稚園としましては、地域に根差して、その地域に見合った、山に近かったらその山のほうで伸び伸びと遊べるような、市街地にあってはいろいろな施設や人的教育を生かしたつながりだとか、小学校区域に1つ幼稚園がありますので、幼小連携というものは、とてもやりやすいというところの強みの一つであり、力を入れているところです。

会長

強みとか、良いところがあることはよく知っていますが、今、数字として一番分かるのは、保育面積を園児の数で割った数は、圧倒的に公立幼稚園が高いはずですよ。つまり、人数が少ないおかげという意味ですよ。それは結局、同じ税金を払いながら公立幼稚園に通わせている方については、すごくいい点だと思うけど、それは逆に言えば利用者が少ないからということになる。だから、それをメリットと言うかどうかという問題。それから、先生方がかなり余裕を持って教材の準備とか研究ができるという時代がありました。午後2時で園児が帰って、その後はずっと教材研究や次の日の準備ができる。一方、保育現場は18時、19時までみんな追いまくられて、研修どころじゃないと言われてますから、そういう意味で、大変逆境の時代を公立幼稚園が生きていることは、よく分かっていると思います。

その上で、これだけの厳しい状況になったときに、公立幼稚園が生き延びられる道、あるいは公立幼稚園じゃないとできないこと、今、委員からご意見があったように、そこが何なのかということ、早いうちにしっかりと絞り込んで、どこに、どんなものを設置すれば市民の理解が得られるのかという検討に入らないと、いつまでもみんなが生き延びられる話をしても仕方がないと思うので、そこは一定程度の見通しを持って取り組

委員	<p>むべきじゃないかなと思っております。これは、議長としてじゃなくて、一委員として申しあげたお話です。</p> <p>それでは、他の方のご意見をお願いいたします。</p> <p>保育園からも、お話をさせていただきたいと思います。先ほどのご質問を伺って、大変申し訳ないなと思ってます。といたしますのは、実はコロナが始まる前までは文教厚生委員の先生方とは、毎年、意見交換会を持つようにしておりました。諸事情等々もありまして、それが頓挫しております、保育園、幼稚園、それから幼児教育、そして保育、そういうものに関して、意見交換をする場というものを設けることができなかった。そのため、なかなか我々のほうからのお話ができなかったなと反省をさせていただいております。ぜひともまたお声がけをさせていただきますので、ご参加をいただきまして、先生方のご質問やご意見が我々にとって勉強になりますし、さらに深めていくという感覚が出てくるのかなと思っております。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それと出雲市、昔から保育協議会と市のほうでは、幼稚園と保育園というものの在り方というものを協議してきた経過がございます。我々としても、その地域にある幼稚園の存在意義、そういうものをしっかりと認識をしながらやってきて、その中で、午後の部分の預かり保育に関しても、理解してきたという経過がございます。</p> <p>保育園と幼稚園というものが長い間、歴史的な経過の中で議論をさせていただいてきたというふうに考えているところでございます。ありがとうございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>1-1、1-2、1-3という3つの資料が用意されておりますので、それについてご覧いただいて、ご意見をいただくという会でございますので、どうぞ、ご質問等いただければと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>失礼いたします。商工業事業者、福祉や病院、医療関係も同じですけども、全国的にも担い手不足、労働力不足が言われておりまして、いわゆる収入の壁問題もあって、いかに労働力を増やしていくかというのが全国的な課題であります。その中で、ちょうど資料1-2の7ページのほうに子育て世代女性労働力率ということで、全国的には80.9%、出雲市では既に90%近い。もともと共働きの家庭も多いということもありますけども、先ほどお話があったように、今までの幼稚園教育の在り方は、なかなか社会のニーズとは合わないのではないかなと。いろんな工夫はされてい</p>

<p>会長</p>	<p>るようですけども、新しい制度、幼稚園と保育所の両方の特徴を生かすような制度もできているということで、こちらの方に進んでいくんだらうなというのは感じています。ただ、先ほどの委員のお話を聞きますと、なかなか、公立で認定こども園ができるかという点と難しい。さらなる課題があるということをお聞きしまして、そのあたりの資料等も、これから審議会等にも提出されて議論されるんじゃないかなと思っております。そういう社会情勢、ニーズ等も合わせて、今後の在り方を検討していただきたいと思ったところでございます。以上です。</p> <p>ありがとうございます。データにかかわらず、いろんなご意見があるうかと思っておりますので、ご発言いただければと思います。</p> <p>保護者の代表の方も出ておられますので、もし保護者としての何か感想があればお伝えいただければと思いますし、要対協からも出ていただいています。子どもの福祉をめぐる現場は結構厳しくて、保育に関わる子どもたちが増えてくると、当然ながら放課後のニーズもどんどん増えてくるということになる。この問題って、この先々考える中で、出雲市の子どもにかけられるリソースをどういう形で展開させるかっていうことの基本的な設計に関わってくるので、この辺は非常にシビアな議論も必要だと私は思っています。いかがでしょうか。</p> <p>お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>児童クラブで毎年新しい1年生が入ってきます。幼稚園から小学校に入学して、児童クラブへ来た子どももいれば、保育園から来た子どももいるわけです。ちょっと語弊があるかも分かりませんが、1学期ぐらいは、確かに幼稚園から来た子どものほうが、しっかりしている感じがあります。挨拶の仕方、行動面、いろんな話題の割り振りからみても、何となくしっかりして育てられてきたなという感じがいたします。保育園と幼稚園は厚労と文科、そもそも国の立ち位置が違うところにあって、保育園の対象とか時間とか、あるいは保育者の資格であるとか、あるいは配置基準だとか、いろんなものが保育所と幼稚園は違うと思うんですけども、他方では、幼稚園に今日の資料にもあるような減少があるということは、保護者の立場からすると、必然的に保育園のほうが利便性が高い。そこに少子化が来ていますから、これはもう致し方ない流れでもあるかなという感じがします。</p> <p>そこで、幼稚園がせっかく持っている就学前教育の非常に大切な部分を保つことができる認定こども園の設置ができるだろうか？ 既に出雲市としては何園かできていますから、そうした検証も含めながら、認定こども</p>

<p>会長</p>	<p>園にある程度移行せざるを得ないのかなと思います。</p> <p>そうはいつでも全て否定するものでもないし、どこを残して、どこは仕方がないというようなことでやるかということ、総数とか、あるいは出生数とか、ある程度取捨選択していかざるを得ないのかなという感じがしております。できれば理想的なそうしたものを残すことができればよろしいかなと思うところがございます。以上です。</p> <p>ありがとうございました。保育園から来た子どもと、幼稚園から来た子どもの手触り感の違いみたいなこと、これ結構議論になることがあります。ただ、気をつけなきゃいけないのが、それが保育園と幼稚園の違いなのか、それとも保育園に行っている子の家庭の状況と、幼稚園で、いわゆる保育の必要のないという家庭の状況によるのか？ 全体で見ないといけないので、幼稚園教育と保育所の保育の違いですというには、なかなか言えない面もあるということを少し補足させていただきたい。</p> <p>保育的な施設には様々な子どもたちがたくさん来るようになっていて、その中で上手に集団行動が取れたり、上手に育てていくためには、そこにお金かけて人手をつけないと絶対無理なんです。この、そうやらなきゃいけないという予算を、どこから持ってくるのかという全体的な問題として考えないと、なかなか難しい面がありますということを申し上げたい。</p> <p>他にいかがでしょうか。お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>保育園に子どもが通っておりまして、来年、小学1年生になるんですけど、小学校の説明会に行って話を聞きましたが、まず、保護者と子どもと分かれて、子どものほうが小学校のお兄さん、お姉さん、4年生ですかね、案内してくれたんですけど、いきなり小学生に囲まれてちょっとびっくりしたっていうのと、あと、環境が違うので少し話しづらかったりとかあったようです。</p> <p>保育園は小学校との連携があまりなかったように思いますが、幼稚園は小学校との連携とか関わりをどのようにされているのかお聞きしたい。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。先ほど幼稚園の強みとしておっしゃった、地域の小学校とのつながりがつくりやすいということですね。</p>
<p>委員</p>	<p>失礼します。小学校と幼稚園の距離が近いですので、この4月にも小学校の教頭先生、校長先生と話をし、ぜひ連携したいですがという話をしたら、朝連絡もらったら庭に遊びに来てもいいですよ、授業も体育だったら見に来ていいですよとか、割と気軽に言ってくださいます。それから、</p>

<p>会長</p>	<p>運動会の練習も、近くでドンドンって聞こえると、ちょっと行ってみようという感じで、距離が近いとそういうことができやすい環境にあります。ほかの小学校へは行かないっていうわけじゃないですが、近くの小学校だと相談も立ち話でできて、これは幼稚園にも取り入れられるとか、それから幼稚園の運動会にも見に来ていただいたり、こちらが意識して話をし、向こうも応えてくださって、そういったいい面が生まれています。</p> <p>ありがとうございました。それぞれの地域の幼稚園は地域の小学校とつながりを強めるということが強みにつくってきたので、すごくいいことだと思います。小学校教育というものとの接続っていうことを考えるならいろんな工夫のしようがある、そういう意味で展開の仕方っていうのはあるだろうなと思います。</p> <p>ほかにかがででしょうか。そろそろの時間になってきたんで、ぜひ何かご発言いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>2人の娘が幼稚園と保育園に勤めております。一度、幼稚園と保育園ってどこが違うのっていうのを言ったことがあります。ひとりの娘は、やっていることはそんなに変わってない。小学校になったときに幼稚園の子のほうが優れているっていうことはまずないというようなことを言っていました。ほとんど変わらないじゃないかという保育園の先生のプライドを言っていたんですけど、結論などないですが、今日、先ほど他の委員がおっしゃったように、若干児童クラブで差があるんじゃないかっていうのを聞きまして、そこは違うんじゃないかっていうのも、また同じく伝えたいと思っております。大変いい意見をいただきました。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。そろそろの時間ですが、何かあればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>皆さんお疲れさまです。</p> <p>民間でカバーできている子育てのニーズっていうのと、やはりこの地域では公立が果たさなければいけないものがあるというところが、地域によっても違うと思いますし、当然、人が多い少ないというところで違う。人が多いところでも、ここの部分はやはり一定のニーズがあって、公立じゃないと賄えないとか、そういうところがあると思いますので、公立で、やはり私たちはこの声に応えてやるんだっていうところについて、幅を求めるところとピンポイントなところをもう少し整理をしていただい</p>

	<p>て、提示がされる強い思いを、逆に自負心を、しっかり出していくといいのかなと全体の討議を通じて思ったところです。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>私は幼稚園育ちで、子どもも幼稚園に入れていましたので、保育園のことはちょっと分からないですが、アンケートを見て、幼稚園は要らないみたいな感じのことがたくさん書いてあってショックだなんていう思いが一番です。ただ、特別支援とかインクルーシブとか、何かそこら辺がもしかして保育園にないものだったりすれば、すごくいい、これっていい教育なのかなっていうのはあって、幼稚園の強みとしていけるのかなというのを少し感じました。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。非常に大切な視点です。ただ、これもちょっと扱いを誤ると、いわゆる手のかかる子どもや扱いの難しい子どもは民間には行けません。幼稚園の公立に行ってください的な話になってしまうと、少し違う角度になってしまう。ほんとはその支援が必要な子はどこに行っても支援が受けられるという形をつくっていかなきゃいけない。</p> <p>これまでの実績の中で公立の幼稚園がそのノウハウを持っているということも事実なので、その辺については一緒に勉強していきましょうという態度でやっておられると理解しております。</p>
<p>委員</p>	<p>比率は別として、一定割合での公立幼稚園があることの必要性というのを感じています。それは、その保育園がどうこうということではなくて、その内容、地域との関わりとか、いろいろなことはあると思うのですが、例えば、かつて障害児保育とか、そういった問題があったときに、もちろん保育所あたりでもその障害児の保育はできるという話は当然ありましたが、ただ、限られた収入の中でなかなか思いはあってもできないという問題があると思います。そうしたことを考えたときに、やはりインクルーシブな教育というものをやっていく、そういうものを中核的にやっていくような機能として公立の幼稚園が必要ではないのかなと。</p> <p>一定割合は、公立の幼稚園があって、その子どもたちが、地域により選択肢は限られてきますけれども、進んでいく、そういう在り方が適切ではないのかなと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。今、最後のほうでおっしゃいましたが、人口減にとって一番厳しい問題は、選択肢がつかれなくなってくるっていうこ</p>

委員	<p>と。これは冒頭に申しあげましたが、高校の統廃合などを考えるときに、子どもの数が少なくなってくると、部活の数も限られて、ある部活からある選手を引き抜くと、ほかの部活ができなくなるというようなことになっていて、その選択肢というものが狭まっていくということが、人口減少時代の一番のポイントなんだろうと感じながら、色々なことに関わらせていただいております。ありがとうございました。</p> <p>今回、こうやってご審議いただけるというのは、感謝をしております。例えば、とある幼稚園に関しては、今までのやり方といいましょうか、もうその地域には入る子もいませんよ、もうこれから全然未来がないですよ。建物があるので、これを認定こども園化されませんかという形で我々民間のところにお話が来て、どこかが手を挙げなきゃいけない。それなら地元の一つ保育園があるから、そこが手を挙げられますかねという話にならざるを得なかった。</p> <p>我々民間の社会の中ではあり得ない話です。もう未来がないものに、そこに全く収入がない中、老朽化した建物を何とかしてくれ、これはあり得ない話。ですが、今回、これだけのたくさんの幼稚園を、もう一度、これからの未来に向かって審議をし、そして必要なところは必要として整備をする。そして、そうでないところをどうしていくのかということ議論されることは、大変にありがたいと思っております。</p> <p>私、県でも委員をやっていますので、県下大変なことになっています。もう定員割れ当たり前の状況下で、もう1園を何とかどうやったら保っていけるだろうか、来年、子どもは来るだろうかという話を県ではやっています。出雲市の保育園は別格です。今、出雲市では県と別の感覚でおりますが、いずれ出雲市でも人口減少による定員割れの話をする時が来ます。ですので、こうやってご審議いただけて、そして用意をしていただけるということは、本当に、我々としては願ったりかなったりということですので、ぜひとも様々なご意見を基に、出雲市として、ご決断をいただきながら、我々もできる協力があるならば、ご協力させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>先ほどからいろんな意見を聞いていまして、随分大昔にやった議論だなという感じを受けていました。十何年前、出雲市は保育団体に対してどれぐらいの補助金を出してくれるのかと、これが主なテーマでした。今、なぜ保育園の問題、幼稚園教育の問題が議論に出てくるのだろうかと思</p>

<p>会長</p>	<p>に思っていました。</p> <p>むしろ、保護者の方がどこまでやってくれるのかという話もありましたが、そこに興味があるのだろうと思っていました。その議論を置いておいて、保育園の子どもは優秀だから、幼稚園がこうだからという議論はおかしいのではないかと、聞いていて思いました。そういう根本に返った議論をもう一回我々にも教えていただきたい。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>かつて、幼保一元化について真剣に話した時期があったなと思いながら、そのときの回答は、出雲市は幼保一緒のこども園化にとっても関心を持っておられ、しかしながら、出雲市としての公立の認定こども園はつくらないという発言をしておられたように思い出しました。良いものであると進められているのに、実験園でもいいので実施されませんかという発言もしたように思います</p> <p>しかし、実施しないの一点張りで、そこには保育園と幼稚園とのいろいろな在り方の、せめぎ合いとか存続とかあったのではないかと考えています。</p> <p>私どもの地域で幼稚園が閉園になりましたが、そのときも公立がなくなるといのは大変なことだと話をしました。私立の法人と、公立の幼稚園とに大きな財源の違いがあるというところが一つありました。随分審議し、その当時の園長先生も頑張っておられましたが、結局、利便性というところに流れたわけです。そのネックが、夏休みの給食でした。そこが大きかったです。学校教育の中で、夏休みには給食が出ない。じゃあ、そこを何とかお弁当とか何か頼んででも、何かできないだろうかっていう案も出たんですけども、なかなかそこまでいくには時間が足りませんでした。その結論を出すまでに。そういった経緯があって、閉園ということになったんですね。その閉園というところも、小学校の中に附属幼稚園として置けないかという案も出たんです。校長先生も管理職は1人でできますので、何かしらそういう形ででもできないかっていう案も出たのですが、難しかったというところもあり、残念だったなというところなんです。</p> <p>今、盛んに保育園、幼稚園と言っておられるけど、子どもを見てくださっている環境というのは一緒だと思うんですね。どこも皆さんすばらしいと思います。唯一違うとしたら、やはり財源といいますか、やっぱり公立というのはそれなりに補助金でも何でも、比較的持ってきた財源を保障する。そこを存続させるためには、ある程度そういう機能があるのかなと思っていて、そうしたときに、その教諭が、やはり勉強したりいろいろ</p>

	<p>する機会が多いわけですよ、比較的。例えば初任研があるとか、そういうことも含めて、学習する場が教員のほうで可能ではないかな、あるいは中央とのやり取り、いろんな意味でのところで、そういったニーズっていいですかね、それは違った意味での意味合いが、幼稚園教育というか、幼稚園を存続する意味合いが、拠点、何でしょうね、幼児教育の拠点ですかね、そういったところももしかしたら担えるのではないかなという気がしているんですけど、幼稚園の良さっていいですか、名前が幼稚園ですけど、ほかの名前でも別にいいですよ、それは。ですが、やっぱり公立の何かしらの幼児教育を保障するという場所は必要ではないかなって思います。それをどういう形にするかというところを、今後、話す必要があるのではないかなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。少し昔の経緯を思い出したりしながら聞いていました。これはもう地域の属性によりけりで、冒頭から出てきた話で、幼稚園と言えば公立みたいに思うのが、この地域なんですよ。だけど、別の地域に行くと、幼稚園っていうのは私立が当たり前で、公立ということなんか全く浮かばないというところもある。例えば境港市がまさしく幼稚園といえば私立なんです。公立ではない。逆に、保育所っていえば公立だと思っているというところがあります。そういう地域の児童の、その幼児、児童の教育、福祉をつくり上げてきた流れというのがあって、その上で今、転換期が来ているという問題に私たちは直面しているので、その辺も考えながらいかなきゃいけないかなと思ったところでございます。</p> <p>前回会議において、皆さんから出た質問について、事務局のほうから回答を用意していただいていると聞きましたので、お願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>7月に開催した第1回会議で、水道の蛇口について、コロナが発生してから児童クラブでは全て自動水栓に切り替えたが、最近訪れた小学校の手洗い場の蛇口が昔の回すタイプだったということから、学校の自動水栓化計画の有無についてご質問がありました。</p> <p>この件につきまして、教育施設課に問い合わせましたところ、自動水栓化の計画はないということでした。</p> <p>現場からの意見の中に、蛇口を回す動作も発育や発達などに良い影響があるという意見もあったとのこととして、また、感染症対策としては、手洗いや手指の消毒を徹底させるために、特に幼稚園、あと小学校の低学年ですが、手洗いの習慣づけができるように職員が付き添って指導や補助をしているという回答でございましたので、この場でご報告させていただきます。</p>

	<p>ます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>特段ご質問がなければ、これで一応ご回答を承ったということにしたいと思えます。</p>
	<p>そうしましたら、以上で本日の議論を終わりたいと思えますので、あと事務局にお返しをしたいと思えます。皆様ご協力ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。委員の皆様も、長時間ありがとうございました。</p> <p>続いて、連絡事項がありますので、担当から説明させていただきます。</p> <p>〔事務局説明〕</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、閉会に当たりまして、子ども未来部部長、小村信弘がご挨拶申しあげます。</p>
<p>部長</p>	<p>子ども未来部長、小村でございます。令和5年度第2回出雲市子ども・子育て会議の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申しあげます。</p> <p>先週9日、出雲駅伝、第35回ということで、平成元年からずっと続いてまいりましたこの大会、今回は地元出身の伊藤蒼唯選手を擁します駒沢大学の連覇ということで終わりました。こうして駅伝が始まると、ようやく秋になったかなという感じがしてまいりますが、この秋深まる中、委員の皆様、お集まりいただきまして大変ありがとうございました。</p> <p>本日、市立幼稚園の在り方と検討状況ということでご報告をさせていただきました。現在、出雲市教育政策審議会でご審議をいただいているところでございまして、そのときの資料を主に説明をさせていただきました。この子ども・子育て会議におきましては、主に乳幼児、そして学童期の子どもらの政策ということで、子育て支援、子ども支援の観点で、委員の皆様にご意見を頂戴しているところでございます。本日、ご説明させていただきました幼稚園の関係につきまして、様々にご意見を頂戴いたしました。これから、審議を進めてまいります教育政策審議会におきましても、本日のご意見等も生かしながら、審議を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>さて、国のほうは間もなく臨時国会が開催されるということで、年末に</p>

事務局	<p>向けて来年度の予算編成が本格化するところでございます。6月に示されました「こども未来戦略方針」これを戦略ということで確定するために、財源を含めた議論が深まるところであります。児童手当制度等についての話が関心が高いところではありますけれども、育児休業制度、働き方の問題等も含めて、様々な観点で、子どもを真ん中という観点で、社会復帰を進めようというところでございます。</p> <p>あわせて、こども大綱につきましても年末までには形として示されると聞いております。こうした国の動向ですとか、本日の、この市立幼稚園の在り方等、今後の大きな状況につきましては、またこの子ども・子育て会議でも、状況なりご説明をさせていただきたいと思っておりますので、その際にはまたご出席をお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、引き続き、本市の子育て施策推進のためにお力添えをいただきますようお願いいたしますとともに、これから寒暖差が激しくなりますが、皆様方が健康に留意されますことをお願い申しあげまして、本日の閉会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。お気をつけてお帰りくださいませ。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----	--